

令和7年度自動物流道路の社会実装に向けた実証実験について ～6つのユースケースについて公募を開始します～

国土交通省道路局は、物流危機への対応やカーボンニュートラルの実現を図るため、道路空間に物流専用スペースを設け、クリーンエネルギーを電源とする無人化・自動化された輸送手段により貨物を運搬する新たな物流システム「自動物流道路」の構築を推進しています。

今般、建設中の新東名高速道路の区間における2027年度までの実験実施に先立ち、既存の技術・施設における実験を通じ、自動物流道路の実装に向けた技術的課題の検証及び運用に必要な条件整理等を行うことを目的とした「令和7年度自動物流道路の社会実装に向けた実証実験」に参加する事業者の公募を行います。

■募集期間

令和7年7月31日（木）～令和7年9月5日（金）12時

■実験概要

インフラ側の必要面積、輸送効率や事業性の観点から6つのユースケース（拠点での積卸し作業の効率化、自動走行、走路変更、通信安定性・運行管理など）を設定し、必要な幅員、加減速や停止・発進に必要な距離、走路変更の可否、トラックから搬送機器への積卸しの自動化技術の適用可能性や性能、通信の安定性、自動走行時の位置精度などについて検証を行う。

※詳細は別紙の「公募要領」を参照ください。

■実験場所・実験期間

<実験場所>

- 国土技術政策総合研究所の試験走路（実大トンネル実験施設を含める）
- 申請者より提案のあった場所での実証実験も実施可能とする

※国土技術政策総合研究所の実験施設の現地事前見学を予定しております。

詳細は別紙の「公募要領」を参照ください。

<実験期間>※国総研

- 試験走路（トンネル部）

令和7年11月19日（水）～令和7年12月26日（金）

令和8年2月2日（月）～令和8年2月28日（土）

- 試験走路（屋外直線部）

令和7年12月15日（月）～令和7年12月26日（金）

※上記試験走路の使用期間には、機材の撤収や原状復帰等に要する期間も含むものとする。

■提出方法・採択方法

申請者は、自動物流道路の実装に向けたコンソーシアム事務局に実験の内容や申請書類の作成方法等について予め相談のうえ、申請書類一式を募集期間中に「(5) 提出先」のメールアドレス宛に提出してください。国土交通省で審査の上、採択を行います。

※詳細は別紙の「公募要領」を参照ください。

■提出先

申込・問合せ先：自動物流道路の実装に向けたコンソーシアム 事務局

メールアドレス：HID0_jido_butsuryu★hido.or.jp

(「★」を「@」に置き換えて送付ください)

(参考)

自動物流道路に関する検討会 国土交通省ホームページ

https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/buturyu_douro/index.html

自動物流道路（オートフロー・ロード） 国土交通省ホームページ

https://www.mlit.go.jp/road/autoflow_road/

自動物流道路の実装に向けたコンソーシアム 国土交通省ホームページ

https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/autoflowroad_consortium/index.html

<問合せ先>

道路局企画課道路経済調査室 企画専門官 遠藤、係長 村松

代表：03-5253-8111（内線 37-622、37-623） 直通：03-5253-8487

